

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	入居者様の高齢化により、体力低下や足腰に不安を抱える方の割合が多くなった。このことにより入居者様達は外出を面倒に思い、職員も介助の負担増加から戸外活動への働きかけが減少傾向にある。	個別ケアを実践しアクティブな暮らしの支援に繋げる	<ul style="list-style-type: none"> <li>入所者様達それぞれの目標や希望をケア会議で話し合い、ご家族の思いも含めて情報共有する。</li> <li>年間行事の他に月毎の戸外活動や日課を計画し実行に移せる様、担当職員を決め内容を掲示する</li> </ul>	3ヶ月
2	23 24 25	介護職員として日常の申し送りや往診後の薬変更、入居者様の支援手順等、職員間で情報を共有する事が必要だが、申し送り事項が正しく全員に伝達できていない。物品の場所や災害時の対応、催事計画等についても同様である。	職員間で情報共有を円滑に行う事で安心・安全なその人らしさの生活支援ができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>日誌や介護記録は遅番職員が見直す事で欠落を防止し、口頭で出勤順に申し送りを必ず行う。</li> <li>往診後や日常の変化、重要な事案はスラック・ラインで伝達し、確認後の返信を徹底する。</li> <li>毎月のミーティングで消防指差し点検を実施。催事計画や物品・対応の理解をチェック表を用いて確認する</li> </ul>	1ヶ月
3	38 40	昼食後に居室で休まれる方が増えてきた中、3時のおやつ時間までの過ごし方が散漫になっている。フロアで過ごされる方への支援も含めて、午後からの過ごし方に対しての働きかけや工夫が不足している。	目的を明確にした生活レクを工夫し、余暇時間の充実を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>入居者様の好みや季節に合わせた手作りデザートの日を毎月1回設定し、入居者様と共に作る。</li> <li>食材の不足品等の買い物や社協への寄付を定期的に行い。同行してもらう。</li> <li>レク用品を手作りし夕方の体操時間等に活用する</li> </ul>	2ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。